土浦平和の会

ニュースNO・4ワ　？q（フワ年ワ月

発　行　土浦平和の会
事務局　土浦市神立町２６６４―２
ＴＥＬ　　３１―９１２２

ゲル二ず1

今度のスペイン旅行［6J］/1 11～14日）は内戦にまつわる史跡を訪ねるのが目的だった。事前に、ブルネデ戦で倒れたジャック・自井のこと、内戦と|］本軍部の関わりなどを調べていたので、それらの史跡を是非見ておきたかった。夲い、それを果たすことができたが、スペースの関係で、ここではひとつにしぼって報告したい。

マドリードのアトーヂャ駅の隣に上立ソフイアエ妃芸術センターがある。その２階の！室に、かの有名な《ゲルニカ》が展示されていた。縦３、５メートル横７、８メートルという人ill紬iである。

もともと、このピカソの人作《ゲルニカ》は内戦でフランコ恻を支援するナチス・ドイツの空軍（コンドル兵団）によって、バスクの古都ゲルニカが爆撃された［19 3 7年４月２６１］|）ことに端を発している。この濠撃で、人目７、０００のIIIfで２、００　０人にのぼる死傷者を出し、町の７割の家屋が焼失した。

そのころ、パブロ・ピカソは、３７年のパリ万|専のスペイン館を飾る絵を共和国政府から依頼されていたが、ゲルニカ爆撃という衝I攣的な報に接して、キャンバスに怒りをぶｰﾊﾞ）けるかの､Lうに、この人作を一気に描きあげた。

これが、我々の|眼前に迫る人画而《ゲルニカ》だ。

複製や川集では、なんべんもこの絵に接しているが、本物の迫力は凄い。吸い込まれそうな迫力である。色調がモノクロームだけに余計そう感じられるのかもしれない。

戦争の恐ろしさ、不気味さ、不条理さを余すところなく示す画而だ。

’９７、７、１５

代表理事　斎藤房雄

`畛ｙ”，－－－、禁ﾞ　，　”，
C土浦市長も回昌田金目回ａ。口G
;;　回囲ａｌｊを求める意見書に
S　賛同回答
;1　6月２５［口こ汕中長のところに原水禁カンパの
§i訴えと［核兵器全面禁止・廃絶を求める意見沢］
ｓ（県原水協会長名）の賛同を求めたところ、賛|･i】
?の署名を頂きました.
ぶこ!｀･、__-φsや←　’．・峭l。－－
･‥_‥___._り!.･　‥‥‥___.==========－－－J---=←_!

平和行進ワンカット

会員６０歳　|’足に自信はないけど、今年は歩いてみようか」（息子は和歌山から通し行進でがんばっています）

ポッポ会員　［あなた、どうせ歩くのなら有意義に歩いてみたら］（ご:1ミ人が石岡から荒川沖まで歩きました）（74歳のご婦人もがんぱりました）

コープ店長　「わたしもここから歩かせていただきます」本部理事長、平和担当職員、その他多数参加しました。）

新婦人会員　|’お弁当がこんなに売れ行きがよいのは初めてです」（友茶のコップも９０コがなくなりました）

内|11油圧　「おれも歩きたい」［それじゃーおまえもー緒に歩けよ］（２名づれで参加しました）

阿見町ソクラテスからも２名参力||。

心配された雨もなく、かんかん照りもなく最高でした。

行享ごよみ

７月　9 11　県平憲法パネル打ち合わせ（水戸）

７月1】11　平和行進石岡・上浦コース
（約１００名参加）

7J口5 11　平和の会理事会（！中地|弍公）

７月２０１ﾚI　L浦は親人会［木II］余台ワークヒル）

８月　3 11　県平和委理事会

８月７凵～9 1､I原水禁|!t界大会（長崎）

8.月！611　県平和委人学習会

|】月8 11　県平和大会（まっり）予定（|’f11り